



2024年5月15日

各位

会社名 株式会社海帆
代表者名 代表取締役 守田 直貴
(コード番号: 3133 東証グロース)
問合せ先 取締役管理本部長 水谷 準一
(TEL. 052-586-2666)

個別業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）の通期個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期通期個別業績と前期実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純損益
前期実績 (A)	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
2023年3月期	1,731	△543	△584	△1,051	△33.70
当期実績 (B)	1,921	△522	△507	△561	△12.23
増減額 (B - A)	190	21	77	490	
増減率 (%)	10.93%	—	—	—	

2. 差異が生じた理由

当社個別の売上高に関しては、各店舗で集客が回復傾向となったことに加え、収益向上の施策等の効果により好調に推移し前期実績を上回る結果となりました。

営業利益に関しましては、売上高は好調に推移したものの、円安による原材料価格の高騰の影響を受け、売上原価や光熱費が増加しております。また、今後の新たな収益基盤を築くために、内部体制の整備や新たな事業の検討等を行ったことで管理コストが前期と比較して増加しておりますが、前期実績を上回る結果となっております。

経常利益に関しましては、前期に計上されていた政府及び自治体からの要請に対応した営業自粛による助成金返還損がなくなり、今期は資金貸付けによる受取利息が増加したため前期実績を

上回る結果となっております。

当期純利益に関しましては、退店における原状回復時費用が見込み額よりも抑えられたことで事業整理損失引当金戻入額（特別利益）を計上しており、前期よりも減損損失および事業整理損失引当金繰入額（特別損失）の計上が大幅に減少したことにより、当期純利益は前期実績を上回る結果となっております。

以 上